

# 始良・伊佐地域青少年育成だより

第43号発行  
始良・伊佐地域青少年育成推進協議会  
令和2年11月

899-5212 始良市加治木町諏訪町12  
始良・伊佐地域振興局総務企画課地域振興係  
TEL 0995-63-8109 FAX 0995-63-8108

## 『家庭の日』絵画・ポスター・標語コンクールに29名が入賞!! 絵画の部で下村 羽來(国分小)さんと小島 七星(加治木中)さんが最優秀賞



下村 羽來さん(霧島市立国分小学校1年)と小島七星さん(始良市立加治木中2年)が絵画の部で最優秀賞、椛山 真羽さん(伊佐市立大口東小学校6年)が、優秀賞を受賞されました。このほかに絵画の部で優良賞4名と努力賞10名、ポスターの部で優良賞5名、努力賞1名、標語の部で優良賞3名、努力賞3名が入賞、合計で29名の皆さんが見事に入賞されました。入賞者の皆様・指導者の先生方・家族の方々など関係者の皆様本当におめでとうございます。いずれも素晴らしい力作ばかりでした。

県内の入賞作品は、県青少年育成県民会議ホームページでも見ることができます。

部門	賞	学年・種別	氏名	学校名	学年	
絵	最優秀賞	小学校低学年	下村 羽來	霧島市立 国分小学校	1	
		中学校	小島 七星	始良市立 加治木中学校	2	
	優秀賞	小学校高学年	椛山 真羽	伊佐市立 大口東小学校	6	
		小学校低学年	小森 蒼夢	霧島市立 国分小学校	2	
	優良賞	小学校中学年	吉永 さなり	霧島市立 日当山小学校	4	
		〃	神園 すみれ	始良市立 椛城小学校	4	
		小学校高学年	池田 瑠南	伊佐市立 湯之尾小学校	6	
	画	努力賞	小学校低学年	三重 愛里	伊佐市立 大口東小学校	1
			〃	西田 紗絆	霧島市立 天降川小学校	2
			〃	計 結斗	霧島市立 小野小学校	2
小学校中学年			濱崎 冴亮	伊佐市立 針持小学校	3	
〃			田上 晋作	伊佐市立 菱刈小学校	3	
〃			野崎 健太	霧島市立 天降川小学校	4	
〃			脇川 健介	始良市立 重富小学校	4	
小学校高学年			岡田 天希	霧島市立 宮内小学校	5	
〃			脇元 羽音琉	〃	6	
〃			大迫 裕那	霧島市立 日当山小学校	6	
ポスター	優良賞	小学校高学年	竹之内 莉乃	霧島市立 小野小学校	5	
		〃	前田 愛理	始良市立 始良小学校	6	
		中学校	河江 琴香	始良市立 帖佐中学校	2	
		〃	鯨坂 しずか	霧島市立 横川中学校	3	
		〃	安田 智香	始良市立 帖佐中学校	3	
努力賞	中学校	宮内 晴之進	始良市立 帖佐中学校	1		
標	優良賞	小学校低学年	上田代 琉翔	伊佐市立 羽月小学校	2	
		小学校高学年	小水流 凜斗	霧島市立 霧島小学校	5	
		〃	南 花絵羅	霧島市立 天降川小学校	6	
語	努力賞	小学校中学年	有村 優冴	霧島市立 向花小学校	4	
		小学校高学年	沖園 琴子	霧島市立 持松小学校	5	
		中学校	石野田 瑛大	霧島市立 溝辺中学校	1	

## ご案内

○ 県内や始良・伊佐地域内の受賞者の優秀作品が、下記のとおり展示されます。ぜひ会場に足を運んで、児童・生徒の素晴らしい作品をご覧ください

会場 … 鹿児島県青少年会館 ★ただし優良賞以上

期間 … 令和3年3月19日(金)～6月6日(日)

◎ 11月1日(日)から鹿児島県青少年育成県民会議のホームページでも公開しています。

## 池島 音羽さん(霧島市立横川中3年)内閣総理大臣賞を受賞!!

本年8月2日(日)に鹿児島県青少年会館で開催された「第42回鹿児島県少年の主張大会」で最優秀賞を受賞した池島音羽さんは、九州大会代表として、全国大会へ駒を進めていましたが、見事に内閣総理大臣賞を受賞しました。賞状は、12月3日(木)に県庁で、塩田 康一 本県知事から伝達される予定です。

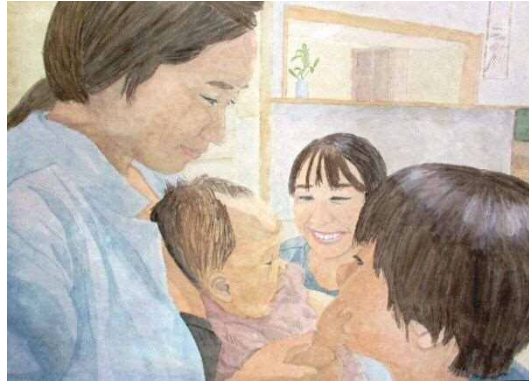




作品介绍 絵画の部



「だれのしゃぼん玉が  
いちばん大きいかな」  
霧島市立国分小1年 下村 羽來



「思い出」  
始良市立加治木中2年 小島 七星



「お母さんとひくからきいてね」  
始良市立柁城小4年 神園すみれ



「たん生日パーティー」  
伊佐市立大口東小6年 椋山 真羽



「たこやきパーティ」  
霧島市立国分小2年 小森 蒼夢



「おばあさんと作ったよ」  
伊佐市立湯之尾小6年 池田 瑠南

県民会議  
のホーム  
ページはカ  
ラーですか  
らぜひ見て  
ね！



「みんなで楽しいバーベキュー」  
霧島市立日当山小4年 吉永 さなり



「クワガタをつかまえたよ」  
霧島市立小野小2年 計 結斗





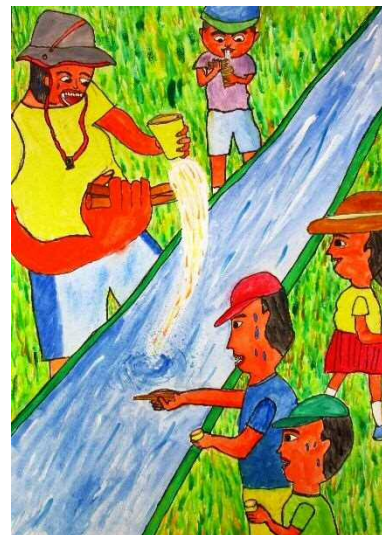
**作品介绍 絵画の部**



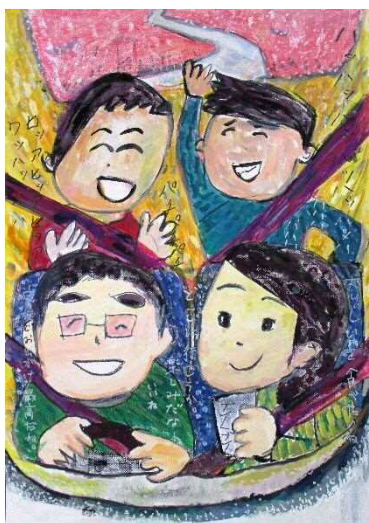
「もちつきトントンおいしそう」  
伊佐市立針持小3年 濱崎 冴亮



「家族のだんらん」  
霧島市立宮内小6年 脇元 羽音琉



「そうめん流しでひとときの  
すずしい夏時間」  
始良市立重富小4年 脇川 健介



「家族でドライブ」  
霧島市立天降川小4年 野崎 健太



「みんなでたべようおいしいな」  
霧島市立天降川小2年 西田 紗絆



「家事を手伝っている様子」  
霧島市立日当山小6年 大迫 裕那



「みんなで楽しく食べよう」  
伊佐市立大口東小1年 三重 愛里



「家族で登山」  
霧島市立宮内小5年 岡田 天希

**県民会議の  
ホームページ  
はカラーです  
からぜひ見て  
くださいね!**



「家族で花火」  
伊佐市立菱刈小3年 田上 晋作



## ポスターの部



「あの日家族と見上げた花火  
それは一生の宝物」  
始良市立帖佐中2年 河江 琴香



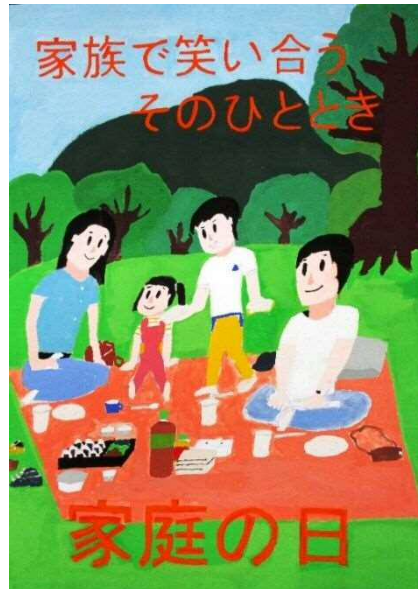
「家族の幸せな時間」  
霧島市立小野小5年 竹之内 莉乃



「家庭の日」  
始良市立始良小6年 前田 愛理



「家族とともに」  
始良市立帖佐中3年 安田 智香



「家族で笑い合うそのひととき」  
始良市立帖佐中1年 宮内 晴之進



「家族との時間」  
霧島市立横川中3年 鱒坂 しずか

## 標語の部

優良賞	伊佐市立羽月小2年 上田代 琉翔	ばあちゃんと いっしょにつくる たまごやしき
優良賞	霧島市立霧島小5年 小水流 凜斗	じいちゃんの つくった野菜で 笑顔咲く
優良賞	霧島市立天降川小6年 南 花絵羅	ごみ出しに 家族で歩く 夏の朝
努力賞	霧島市立向花小4年 有村 優牙	何気ない 家族の会話が ほっとする
努力賞	霧島市立持松小5年 沖園 琴子	夕飯は 私が作るよ お母さん
努力賞	霧島市立溝辺中1年 石野田 瑛大	テレビを消して 家族の会話を onにする



## 「令和2年度始良・伊佐地域 青少年環境づくり懇談会」開催

標記の懇談会を本年度は、9月25日（金）に開催しました。本懇談会には、関係業界・学校・警察・地域・関係機関・団体等の代表者ら29名が参加され、地域の青少年を健全に育成するための環境づくりに関する問題等について、情報・意見交換を行いました。

先ず、総務企画課から青少年保護育成条例に基づく立ち入り調査結果の報告がありました。

次に、青少年育成コーディネーターの活動状況について、2名のコーディネーターが報告され、学校訪問等精力的に活動される様子がよく分かりました。

さらに、教育事務所からインターネット利用等における調査結果の報告があり、平日にインターネット利用の時間が3時間を超える児童・生徒が年々すごく増えていることに会場から驚きの声があがりました。

最後に、各警察署から管内の青少年の非行状況について報告がありました。

すべての報告・説明が終了した後、質疑応答・意見交換の時間も設定され、とても盛り上がり、大変有意義な会となりました。



- 1 開会のあいさつ
- 2 取組状況について
  - (1) 青少年保護育成条例に基づく立ち入り調査について
  - (2) 青少年育成コーディネーターの活動状況について
  - (3) 教育事務所の取組状況について
  - (4) 各警察署管内における青少年の状況について
- 3 質疑応答・意見交換
- 4 閉会



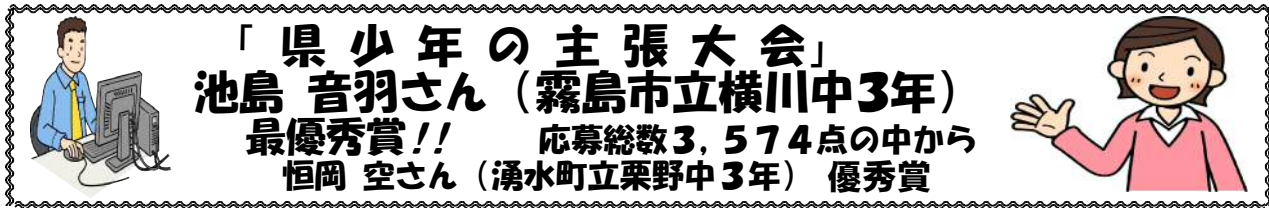
## 「令和2年度始良・伊佐地域 青少年育成指導者研修会」開催

本年度は、鹿児島県青少年育成県民会議と始良・伊佐地域青少年推進協議会の共催で、「始良・伊佐地域青少年育成指導者研修会」を上述の「始良・伊佐地域青少年環境づくり懇談会」に引き続き開催しました。

管内の青少年育成指導者が32名参加され、シンポジウムで3名の登壇者の熱弁を聞かれた後、質疑応答・意見交換で熱心に学ばれました。シンポジウムは、まず登壇者が視点1から視点3までの取り組みの様子等を述べ、その後に会場との質疑応答・意見交換を3回繰り返しました。視点1は「子どもたちを意欲的に活動させるために活動内容をいかに工夫しているか」視点2は「活動しやすい指導形態をどのように工夫しているか」視点3は「意欲的に活動させるために指導面でどのように配慮しているか」でした。各地域で指導者が最も悩んでいる事項を視点1から視点3までとしました。そのため、質疑応答・意見交換もとても盛り上がり、参加者の皆様は「良い勉強が出来た。」と、大変喜んで帰って行かれました。







「県少年の主張大会」  
池島 音羽さん（霧島市立横川中3年）  
最優秀賞!! 応募総数3,574点の中から  
恒岡 空さん（湧水町立栗野中3年） 優秀賞

「第42回（令和2年度）少年の主張鹿児島県大会」が8月2日（日）に鹿児島県青少年会館で開催されました。3,574名の応募者の中から10名が選考され、本大会に臨みました。今年も、一昨年と同じく本地区から2名の本大会参加者がありました。熱弁の結果、霧島市立横川中学校3年の池島 音羽さんが最優秀賞を、湧水町立栗野中学校3年の恒岡 空さんが優秀賞を受賞しました。

以下、池島 音羽さんの主張内容を紹介します。



「言葉を紡ぐ」

霧島市立横川中学校3年 池島音羽



「音羽ってさ、最近調子乗ってるよね。偉そうにさ。まじ、ウザい。」  
それは、突然のことだった。冬が静かに足音を忍ばせながら近づいていたあの日。放課後の教室に冷たい風が吹き抜けた。息ができなかった。ただ、茫然と立ち尽くすしか。心の奥を鋭い刃物でえぐられる。無理に笑おうとすると、頬が引きつった。私、今、どんな顔してるんだろう。真っ白な世界にただ一人取り残された。頭の中に浮かぶのは、疑問だらけ。ついさっきまで、仲良く話してたよね。どうして。どうして私が。私、そんなに調子に乗ってたかな…何か、悪いことしたかな。

その日からすべてが変わった。ひそひそ話をする友人の姿を見ては、その場から逃げ出した。怖かったから。きっと自分のことを知っているんだろうって思った。そそくさと教室を出る私の背中に浴びせられた言葉。

「ほんと何なのけ。ウザいんだけど。」

誰かに相談したくてもできなかった。相談したら、また何かいわれるんじゃないかとおびえる日々。ベッドに横たわって意味もなく天井を眺めた。頭の中の何かがプツツと切れた。気づいたら側に母がいて、私はすべてを打ち明けた。瞬きもせず私のお話を聞く大きな瞳に泣きじゃくる私の姿が映っていた。

「今まで辛かったね。あんたはすぐに一人で抱え込む癖があるから、誰にも相談できなかったんでしょ。今、お母さんに言った気持ちをほんの少しでもいいから相手の子に伝えてごらん。何も変わらなかつたら、また、お母さんのところに戻ってきなさい。」

夕飯に出されたお味噌汁を一口すすると、心の中に溜まっていた何かがふっと抜けていった。久しぶりに感じたこの暖かさ。でも、どうやって伝えたらいいの。直接、言える勇気なんて私にはない。だったら、どんな形であれ、自分の気持ちを伝えなきゃ。だって、私には帰って来られる場所があるんだから。

その夜、私はスマホを握りしめた。LINEを開き、ずいぶんと更新されていない画面を見つめ、自分の思いをしたためた。何度も何度も文字を打ち直した。私が悪いのなら何がいけなかったのかを教えてほしいということ。陰で言われるのはとても辛いということ…。送信ボタンを押す手が震え、どれだけの時間が経っただろう。これがきっかけで何かが変わるといふのだろうか。

翌朝、既読のサインは付いたが、返信はなかった。学校についてもいつもと変わらない景色がそこにあった。「ごめん。」背中越しに聞こえた言葉。それは突然だった。伝わったんだ。少しずつ、私の世界に色が戻ってきた。

「何か気に入らないことがあったら、教えてね。」途切れ途切れの私の言葉。

ステイブ・ジョブズ氏は「想いを形にして、想いを言葉にして想いを伝達する。いくら素晴らしいものを作っても伝えなければいけないのと同じ。」と語る。SNSは諸刃の剣。時に人を傷つけるが、人を救うことだってある。世の中は情報化社会だ。これから先も、私たちは情報の渦の中で生き抜くことになる。何を学び、どんな力を身に付けなければならないか。今、文科省が進める「GIGAスクール構想。」この目的は、一人一台のコンピューターと一人一人の個性に合わせた学習の実現だと言われている。多くの情報を活用する力が私たちに求められているのだ。だが、その基盤にあるものは何だろう。どれだけ、情報化の波が押し寄せようとも、人間が人間としてあるためには、想いを言葉に紡ぎ、相手に伝えることではないか。そして、人と人がつながることで、新しい時代を築けるのではないか。帰宅した私を母が笑顔で迎えた。

「何か食べたいものある。」

私は迷わず答えた。

「お味噌汁。飲みたい。」



出場者全員で記念写真

優秀賞の恒岡 空さんは「参加したただけでも素晴らしい経験ができたのに、思いもしない賞まで貰えて最高でした。今回のこの経験は、これからの頑張りの糧に絶対したい宝物です。」と喜びを語りました。

## 《各地域の活動紹介》 始良市内における青少年健全育成活動

始良市内では、市教育委員会や校区コミュニティ協議会、子ども会など多様な主体が青少年の健全育成活動を展開しています。今回はその一部をご紹介します。

### ◆「AIRAふるさとチャレンジャー」(始良市教育委員会主催)

始良市教育委員会では、市内の小学4～6年生を対象に、「いまこそ身につけたい! 生きる力とリーダー力!」というテーマで、市消防本部や災害医療派遣チーム(DMAT)と協働して、防災学習を実施しています。9月19日(土)は、消防士から災害に関する講話を受けました。参加者は、ジュニア・リーダークラブ「どんぐり」の会員と一緒に避難所運営ゲーム(HUG)を体験し、災害が起きた場合に「どんな人が避難するのか」、「どこに避難させるのか」、「どこに物資を保管するのか」などについて考えました。参加者が積極的に自分の意見を述べており、災害時の対応や対策について学習する良い機会となりました。



### ◆ラジオ体操会(西始良校区コミュニティ協議会・校区子ども会主催)

西始良小学校区では、青少年健全育成の気風を高めることを目的に、8月1日(土)にラジオ体操会を実施しました。校区内の子ども会会員やシニアクラブ、学校の教職員などおよそ200人が校庭いっぱいに広がり正しいラジオ体操の仕方について学習しました。夏休みに子どもたちが、ラジオ体操を楽しみながら体力向上にもつなげていけるように、校区全体でサポートしています。



### ◆読み聞かせ活動(松原下子ども会主催)

松原下子ども会では、6月27日(土)に「1年生を迎える会」を行いました。その中で、小学6年生を中心に絵本の読み聞かせを行いました。上級生が心を込めて読んでくれるので、新1年生も真剣な表情で聞き入っていました。子ども会活動を通して、本とのふれあいや友だちとのふれあいを楽しく体験する時間となりました。







## 「楽しさ自給率」を上げてストレス発散を？

諸々の危険を上手に乗り切る子どもにするにはどう育てればよいの？

伊佐ちゃん： 本当に有難う！助かってます！！厚かましいけど、またまた聞いて良いかな？  
前回コロナウイルス感染拡大防止のための心得をアドバイスして貰ったけど、今回も続けてただ「不要不急」の外出をできるだけしないことで子どもたちもストレスが一杯溜まっているからね…。何とかしてあげたいけど！…。良い解決方法はないかな？

始ちゃん： 伊佐ちゃん。コミュニティデザイナーとして有名な山崎 亮さんが言っていたけどさ、人間って楽しいことを取り入れた生活が必要なんだって。だから、自分から努めて楽しさを取り入れていかないと！それも金で買った楽しさでなくて、自分の手作りの楽しさが一層効果的なんだって。山崎さんは、このことを「**楽しさ自給率を上げる**」と言うんだと書いてるけどね。

伊佐ちゃん： そうなんだ！「つまり各家庭手作りの楽しさで、家の中に閉じ込められているという閉塞感を打破しなさいということ？」 そうだね！確かに家族みんな元気が出そうだよね！

始ちゃん： そう！そう！伊佐ちゃん、人にとっていつでも、自由に伸び伸びと暮らせることって本当に有難いよね？例えば家族揃ってのガーデニングとか、かねて中々訪れない自宅周辺の史跡などを家族みんな歩いて訪ねるとかね。何も遠くに出かけなくてもいいんだけどさ…。この際、家族揃っての過ごし方とか再考する良い機会かもね。

伊佐ちゃん： そうなんだ！ やっぱ聞いてみるもんだね！

始ちゃん： そうだよ！大切なことだから、もう少し聞いてね！先の「**楽しさ自給率を上げる**」と、ほとんどの人々が心が潤ってリフレッシュできるんだって。それにより、「**生きるって楽しい！！**」と前向きになり、以前のような生活に戻れると良いね。感染拡大防止に十分気をつけながら、どうしても実行しないとイケないことは、勇気をもってやりなさいと教えなくてはならない。それが親の務め・役割だと思うのよ！

伊佐ちゃん： 分かったわ！大切なことね！私も積極的に語ってみるわ！聞いてみるもんだね。

始ちゃん： ストレス解消で、明るく楽しい生活ができるといいね！期待しているね！ 頑張れ！ 伊佐ちゃん！！



## 青少年育成コーディネーターが 2 名交替

このたび霧島市と始良市で青少年育成コーディネーターが交替されましたのでお知らせします。

これまで

霧島市 **永い間有難うございました。**  
**児玉 昇 氏(牧園町高千穂)**  
始良市  
**中森 春志 氏(加治木町永原)**



これから

霧島市 **どうかよろしくお願いします。**  
**川越 貞夫 氏(牧園町高千穂)**  
始良市  
**福丸 英徳 氏(東餅田松原上)**



お二方も永年にわたり、コミュニティ協議会や校区公民館等の役職を兼務されながら、青少年育成コーディネーターとして、とても積極的に活動に励んでくださいました。「本当に有難うございました。」と、皆様と一緒に心から感謝したいと想います。また、これから頑張ってくださいの後任のお二方にも、「どうぞよろしくお願いします。」と、皆様と一緒に心からお願いをしたいと思います。それぞれ該当地域の方々は、色々な場面で気軽にお力添えしてもらえるように、お計らいください。

毎月19日は、「食育の日」「育児の日」です。  
みんなで食の大切さを理解し、栄養バランスを考えた食事に努めましょう。また、子育てをしやすい環境作りに力を入れ、子育てを応援しましょう。

